

第7章 未来(あす)を見つめたまちづくり 第1節 人権の尊重

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)					
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R2年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう	SDGsへの貢献(最大3つ)							
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		1,400千円	1,174千円								①講演会等参加者数	人権尊重に関する施策への満足度 市民意識調査の設問「所沢市の施策への満足度」に対し、「満足」「まあまあ満足」と回答した人の割合	人権推進室では、人権全般の啓発を総合的に推進しており、施策への満足度を指標としている。	R2年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう		
	根拠法令	R2予算現額		R2決算額(見込み)	②啓発ビデオ貸出件数														
	今後の同和行政の基本方針	1,335千円		544千円	③啓発ビデオ視聴件数														
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費		R1その他職員従事割合	R1目標								R1実績					R2目標値が未達成の理由・分析	
	人権啓発推進事業	人権意識の向上を図ることにより、市民一人ひとりの人権を擁護し、差別のない地域社会を築くことを目的とし、人権に関する企業及び職員向けの研修会の実施、「人権フェスティバル」の開催(入間郡市同和対策協議会)、人権啓発講演会の実施(人権啓発活動地方委託事業)、人権啓発DVDの貸し出し、人権啓発物品の作成・配布等、さまざまな啓発事業を行っている。		0.60人	0.00人								42.0%					46.8%	R2目標値が未達成の理由・分析
		R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	R2目標								R2実績						
		4,987千円		0.00人	44.0%								46.5%						
		R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	R3目標								目標達成済						
		0.50人		0.00人	46.0%														
期間	H12~	4,084千円	0.00人	①179人 ②2件 ③43人															
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R2年度に改善した点	16. 平和と公平をすべての人に	SDGsへの貢献(最大3つ)							
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		446千円	428千円								①平和祈念式典参加人数	市の平和推進事業に理解いただけた人数の割合	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを理解してもらおうことが当該事業の目的となっているため。	特になし	16. 平和と公平をすべての人に		
	根拠法令	R2予算現額		R2決算額(見込み)	②平和を語る会(回数・人数)														
	-	130千円		49千円															
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費		R1その他職員従事割合	R1目標								R1実績					R2目標値が未達成の理由・分析	
	平和推進事業	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを市民に理解してもらうため、公募した学生と平和祈念式典に参加する「広島平和祈念式典参加事業」や、市内小中学校を対象とした被爆体験者による「平和を語る会」、市役所及びまちづくりセンターで原爆のパネル写真を展示する、「平和祈念資料展」を行う。		0.28人	0.00人								100.0%					100.0%	R2目標値が未達成の理由・分析
		R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	R2目標								R2実績						
		2,327千円		0.00人	100.0%								100.0%						
		R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	R3目標								目標達成済						
		0.28人		0.00人	100.0%														
期間	S60~	2,287千円	0.00人	①中止 ②6回開催し、433名参加															
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R2年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう	SDGsへの貢献(最大3つ)							
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		1,125千円	1,065千円								①家庭教育学級人権教育合同講座受講者数	講座・研修会参加者の理解度(%)	人権意識の向上に資するため、参加者アンケートの理解度を目標値とした。	参加数の制限、研修時間の短縮、休憩時間を設け換気をする等、コロナ禍においても対策を講じて実施した。	10. 人や国の不平等をなくそう		
	根拠法令	R2予算現額		R2決算額(見込み)	②人権教育ブロック別研修会受講者数														
	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、社会教育法、所沢市人権教育推進協議会交付金交付要	991千円		573千円	③人権教育指導者養成講座受講者数														
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費		R1その他職員従事割合	R1目標								R1実績					R2目標値が未達成の理由・分析	
	人権教育推進事業	広く市民や社会教育関係団体、学校関係者に対して講座の開催や人権啓発物の配布を通じて人権教育の推進を図り、差別や偏見のない明るい地域社会づくりに寄与することを目的としている。		0.70人	0.25人								92.0%					92.0%	R2目標値が未達成の理由・分析
		R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	R2目標								R2実績						
		5,818千円		0.00人	93.0%								92.0%						
		R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	R3目標								目標達成済						
		0.70人		0.25人	93.0%														
期間	H15~	5,718千円	0.25人	①160人 ②97人 ③0人															
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R2年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう	SDGsへの貢献(最大3つ)							
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		248千円	170千円								①開催回数	講習会受講生の人数(人)	多くの市内在住外国人に参加してもらいたいため、受講生の延べ人数を指標とする。	新型コロナウイルス禍での各日本語ボランティア団体の活動を情報交換するため、例年3回実施していた連絡会議を、令和2年度は年4回実施した。	10. 人や国の不平等をなくそう		
	根拠法令	R2予算現額		R2決算額(見込み)	②講習会受講生数														
	社会教育法	236千円		0千円	③日本語学習支援ボランティア養成講座受講生数														
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費		R1その他職員従事割合	R1目標								R1実績					R2目標値が未達成の理由・分析	
	外国人のための日本語講習会開設事業	市内在住外国人が生活する上で必要不可欠な日本語の学習の場を保障し、国際化に対応し、市民の国際交流・異文化理解を推進する事を目的とし、毎週月曜日に日本語講習会を市民のボランティアにより実施。また、日本語講習会のボランティア(指導者)の確保と技術の向上を目的に、ボランティアを志す方へ向けた入門編と、ボランティアとして活動する方向けの実践編の研修を開催。		0.26人	0.00人								900					609	R2目標値が未達成の理由・分析
		R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	R2目標								R2実績						
		2,161千円		0.00人	900								160						
		R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	R3目標								目標達成済						
		0.26人		0.00人	900														
期間	H元~	2,124千円	0.00人	①14回 ②160人 ③0人															

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標達成に向けてより、一層の啓発について検討が必要である。	R2年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう	11. 住み続けられるまちづくりを	16. 平和と公平をすべての人に	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		0千円	0千円	①情報提供回数	職員ユニバーサルデザインへの配慮度 ※職員アンケートでユニバーサルデザインに「配慮して業務に取り組んでいる」と答えた割合(平成30年度以前は市民意識調査における市民の満足度を指標としていた。)	第5次総合計画においては、市民の「ユニバーサルデザインの認知度」を対象としていたが、行政サービスを提供する市職員がユニバーサルデザインに配慮し、業務に取り組んでいるかを重要視し、第6次総合計画より成果指標を変更した。								
	根拠法令	ユニバーサルデザイン推進基本方針		R2予算現額	R2決算額(見込み)	②具体的に取り組んだ事業数(研修の開催等)	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	誰もが参加しやすく、暮らしやすいまちづくりを進めるため、ユニバーサルデザイン推進基本方針を周知するための情報提供、新規採用職員への研修等、ユニバーサルデザインを推進するための事業を行っている。		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	ユニバーサルデザインに関する研修会の開催や、情報発信を通じて啓発する機会が不十分であったため。(令和二年度の職員アンケートは研修会の開催前に実施)							
	期間	H19~		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①1回(職員アンケート実施の際に実施) ②1回	R3目標	R3実績								
				1,062千円	0.00人	0.00人	65.0%									
男女共同参画推進センターふらっと	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	コロナ禍により、通常の開館・運営ができなかったため、目標が達成できなかった。依然としてコロナ禍ではあるが、積極的にふらっとの周知・PRを行い、利用者の増加に努める。	R2年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	4. 質の高い教育をみんなに	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		10,945千円	9,714千円	①会議室等使用者数	会議室等の稼働率(会議室・研修室・生活工房の月別稼働率の平均)	ふらっとの事業目的の一つである男女共同参画に係る「学習」や「交流」の場を提供することの成果を測るため、会議室等の稼働率を指標とする。								
	根拠法令	所沢市男女共同参画推進条例		R2予算現額	R2決算額(見込み)	②複写機・印刷使用者数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	男女共同参画に係る「学習」・「相談」・「交流」・「情報」の場を提供するとともに、できるだけ多くの方に男女共同参画への理解と意識の向上を図ることを目的とし、施設(会議室・研修室・生活工房)、印刷機、男女共同参画に関する図書・ビデオ・DVDの貸出を行う。		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③図書・ビデオ利用者数	R2目標	R2実績	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月8日から5月末日まで会議室等の貸出休止し、その後も開館時間の短縮などにより、利用者が減少したため目標が達成できなかった。							
	期間	H7~		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①7,426人 ②73人 ③131人	R3目標	R3実績								
				5,473千円	0.80人	0.80人	45.0%									
男女共同参画推進センターふらっと	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標は達成しており、電話相談は件数が増えている。対面でのカウンセリング相談や何でも聞きます相談が減少傾向だが、コロナ禍により悩みを抱えている人は増えていると思うので、引き続き周知に努める。	R2年度に改善した点	5. ジェンダー平等を実現しよう	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	3. すべての人に健康と福祉を	8. 働きがいも経済成長も
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		4,680千円	4,505千円	①電話相談件数	年間相談件数	悩んでいる人への対応件数を相談事業の成果と捉え、相談件数を指標とする。								
	根拠法令	所沢市男女共同参画推進条例、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律		R2予算現額	R2決算額(見込み)	②カウンセリング相談件数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	女性の生き方に関する相談事業		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③なんでも聞きます相談	R2目標	R2実績	目標達成							
	期間	H7~		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①751件 ②133件 ③38件	R3目標	R3実績								
				2,695千円	0.60人	0.60人	750件									
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標達成に向け、より一層の啓発が必要である。	今後も相談員との情報交換を行い、配偶者暴	5. ジェンダー平等を実現しよう	17. パートナリーシップで目標を達成しよう		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		316千円	287千円	①情報誌「SUN」発行部数	審議会等の委員に占める女性の割合	政策・方針等の意思決定の場に男女が共に参画していることを測るため、市の審議会等の女性委員の割合を指標とする。								
	根拠法令	男女共同参画社会基本法 所沢市男女共同参画推進条例		R2予算現額	R2決算額(見込み)	②	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	誰もが自分らしくのびやかに生きられる男女共同参画の実現に向けて、男女共同参画への関心を高め、性別による固定的役割分担意識の改善を図ることを目的とする。主な内容として、男女共同参画情報誌「SUN」(年2回発行 各5,000部 関係機関並びに公共施設・学校等に配布)を発行する。		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③	R2目標	R2実績	審議会によっては、専門的知識を有することを条件にしていたり、委員の推薦を依頼する関係団体に女性がいなかったりするため、女性委員の割合が増加しなかった。							
	期間	S56~		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①10,000部 ② ③	R3目標	R3実績								
				3,267千円	0.00人	0.00人	40.0%									

